

一ディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(271)(HP 収載)

—ベルリオーズの幻想交響曲—

1. 始めに

前報(270)に引き続き、STAGE+のベルリオーズの幻想交響曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のベルリオーズの幻想交響曲の演奏を選びました。

Berlioz: Symphonie fantastique; Ravel: La valse

演奏:

パリ管弦楽団

指揮:

クラウス・マケラ

曲目:

エクトル・ベルリオーズ 幻想交響曲 H. 4

第1楽章: 夢想 情熱

第2楽章: 舞踏会

第3楽章: 野の風景

第4楽章: 断頭台への行進

第5楽章: サバトの夜の夢

モーリス・ラヴェル ラ・ヴァルス M. 72



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに今回から、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って適用した LAN iPurifier Pro の電源を iPower2 に交換しています。

今回は、PC の受信から Sonica DAC に送り出して再生しています。

ベルリオーズの幻想交響曲は、おなじみの曲でパリ管弦楽団が得意とするものです。聴きどころは、4 楽章から 5 楽章にかけての低音楽器と金管楽器、打楽器の活躍です。

4 楽章は、ティンパニの連打から始まり、低弦の切れのよい演奏が続きます。

5 楽章では、木管の弾み、チューバの咆哮、低弦の押し出し、鐘やティンパニやグラッカッサの一撃などから終章の総奏まで、色彩感に富んだ迫力ある演奏が展開していきます。

ラヴェルのラ・ヴァルスも、おなじみの曲で、ラヴェルらしい色彩感に富んだ曲です。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、フランスの交響曲の色彩感あふれる演奏が聴けました。

以上